Yamato

デジタル体重計 DP-7200

取 扱 説 明 書

信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

（いつでも使用できるように大切に保管してください。）

目　次

ページ

●取引証明以外用はかりの使用制限について …… 1

●始業点検・保管・廃棄について …… 2

●このような機能があります …… 2

●各部の名称 …… 3

●安全にお使いいただくために …… 4

●ご使用前の準備 …… 6

●指示計の角度を変える方法 …… 7

●表示部及びキー操作部について …… 8

●計量の方法 …… 9

●風袋引の方法 …… 10

●表示固定について …… 11

●エラー表示について …… 12

●DP-7200仕様書 …… 13

取引証明以外用はかりの使用制限について

このはかりは次の点にご注意のうえ正しくご使用ください。

1．分　類

このはかりは取引証明に使用する“取引証明用”と取引証明に使用することができない“家庭用特定計量器”があります。

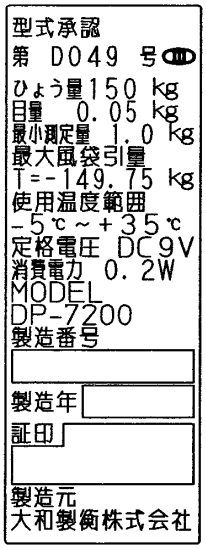
2．識　別

取引証明用であるか、家庭用特定計量器であるかは下記により識別します。

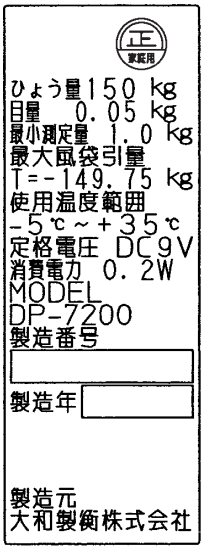
●取引証明用の場合は、指示計部の裏面に図Aの仕様銘板が取り付けられています。

●家庭用特定計量器(取引証明以外用)の場合は、指示計部の裏面に図Bの仕様銘板が取り付けられています。また指示計部表面に〔取引証明以外用〕と印刷したシールが貼られています。

図A
取引証明用



図B
取引証明以外用



3．使用目的の制限

●取引証明用の場合は、特に制限はありません。

●家庭用特定計量器(取引証明以外用)の場合は家庭用に使用されることを前提として製作しており、計量した計量値を基にした取引及び証明を行うことはできません。

始業点検のお願い

計量法では、適正な計量の実施を求められています。
始業時の点検・重量チェックの実施をお願いします。

保管場所について

①高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管は避けてください。また周辺の温度変化が激しいと内部結露によって故障の原因になる場合があります。
②本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での保管は避けてください。

廃棄について

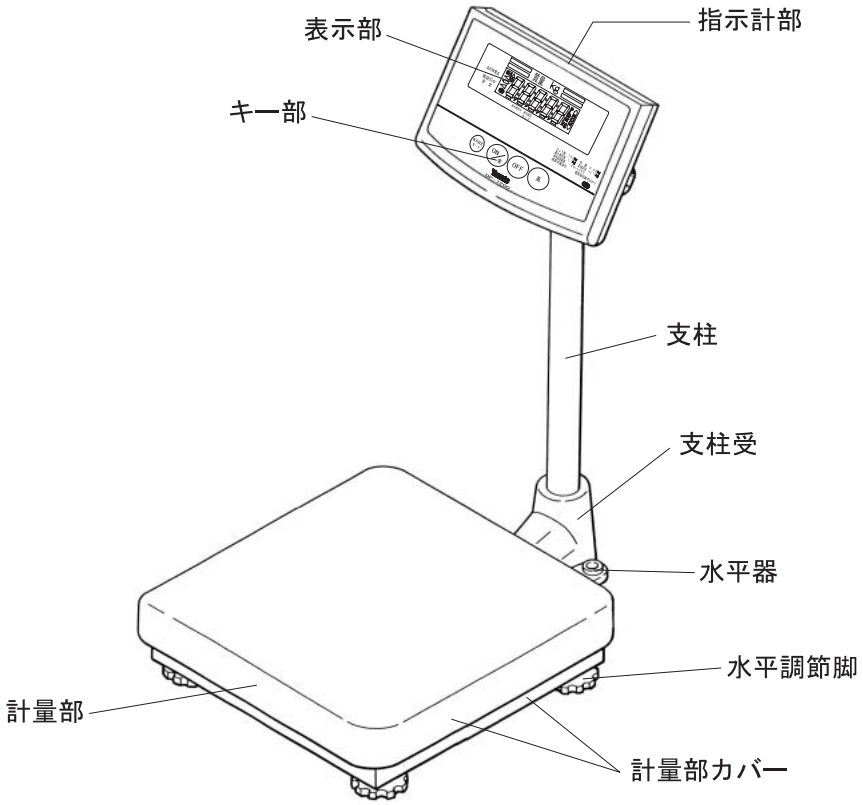
本はかりを廃棄する場合は、産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。
廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。

このような機能があります

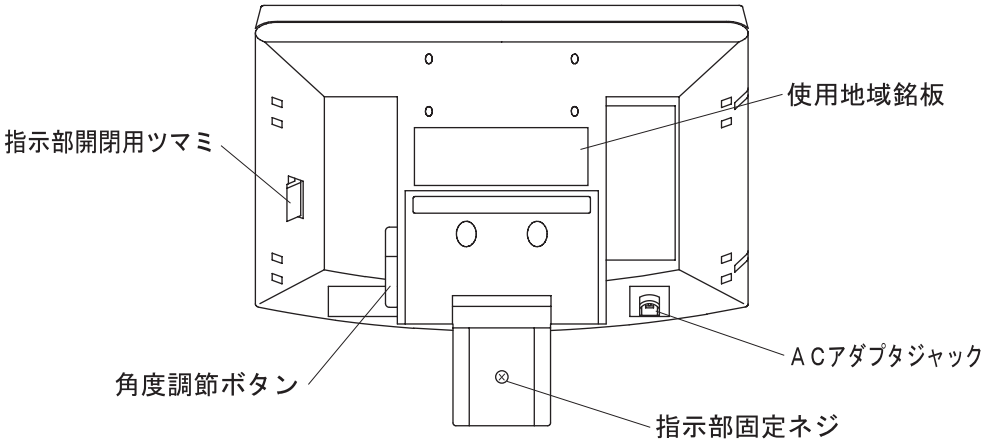
DP-7200は、簡単な操作で効率的な体重測定が行えます。目的に応じてお役立てください。

機　　能	方　　法	備　　考	ページ
風袋引機能 衣服や履き物等の重さを０表示にしたい時	風 キーを使って、ワンタッチで行えます。	風袋量を変更する場合は、計量部より風袋を取り除き一旦風袋引を取り消して表示を0にしないと次の風袋引が行えません。	10
表示固定機能 はかりから降りた後に体重を確認したい時	表示固定モード キーを使って、表示固定モードにしておくと、はかりから降りた後、約３秒間表示の固定が行えます。		11
オートオフ機能	OFF キーを押さなくても、安定状態（ ⊜ サインが点灯）が約15分続くと自動的に電源が切れます。	乾電池使用時のみ働きます。（ＡＣアダプタ使用時はオートオフ機能は働きません。）	9

各部の名称



第１図　はかり各部



第２図　指示部背面

安全にお使いいただくために

次の点を厳守していただき安全にご使用下さい。

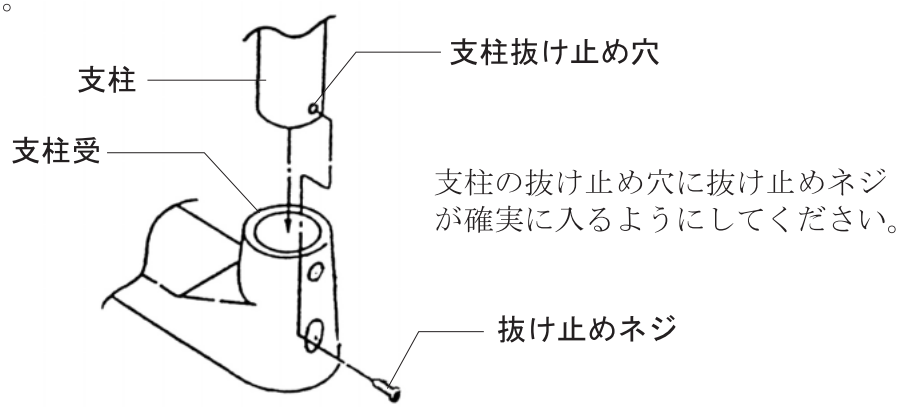
⚠危険　DP-7200は次のような使い方をしますと、爆発や、感電、転倒落下等により負傷する恐れがあり、危険ですので絶対におやめください。

1．防爆機能を備えておりません。引火性ガス、爆発性ガスの雰囲気中で使用すると火災や爆発を誘発する恐れがあります。

2．ＡＣアダプタ（オプション）を使用する場合、100V電源への抜き差しは絶対濡れた手では行わないでください。またＡＣアダプタに水等が絶対かからないようにしてください。感電の恐れがあります。さらにＡＣアダプタは電源コンセントに確実に差し込んでください。

3．はかりに乗って体重をはかる場合、計量部の中央部（足形印部）に乗ってください。極端に端の方に乗ったり、支柱にもたれかかったりすると転倒する恐れがあります。

4．支柱の取付時は抜け止めを下図のように確実に行ってください。この支柱抜け止めが確実でないと支柱が抜けて思わぬ事故になる恐れがあります。



5．はかりの持ち運びや移動の際は必ず計量部を持って持ち上げてください。支柱や指示計部を持って持ち上げないでください。はかりが破損するばかりではなく、支柱や指示計部が抜けてはかりが人の足の上に落下し負傷する恐れがあります。

6．誤って表示管を破損した場合、液晶表示管内部から流れ出た液体は毒性がありますから絶対口に入れないでください。

⚠注意

DP-7200は次の点に注意してご使用下さい。もし守っていただけない場合は正しく計量ができなくなったり、はかりが狂ったり故障の原因になりますので充分ご注意願います。

1．このはかりは、使用地域銘板に記載されている地域でのみ使用できます。それ以外の地域で使用しないでください。はかりに誤差が生じます。

2．直射日光や冷暖房機の風が当たる場所には設置しないでください。正しい計量ができない場合があります。

3．振動及び強い電磁波が発生する機器類（電子レンジ・携帯電話機等）の近くには設置しないでください。正しい計量ができない場合があります。

4．荷重に充分耐えられる水平で安定した床、または台の上に設置してください。たわみ、へこみ、ぐらつきのある場所に設置すると、正しい計量ができません。

5．使用温度範囲は、－5℃～35℃です。この範囲外の温度では使用しないでください。また、急激な温度変化を与えないでください。はかりが結露したり、温度変化により正しく計量できない場合があります。

6．本機は、完全防水・完全防塵構造ではありません。はかりに水をかけないでください。湿気および塵芥の多い場所には設置しないでください。

7．はかりは精密機械ですので、強い衝撃を与えないでください。上に物を落としたり、飛び乗ったり、はかりを落下させたりしないでください。故障の原因になります。

8．電池切れのサインが表示されたら速やかに乾電池を取り替えてください。電池交換は、6本すべて新しい電池に交換してください。古い乾電池が混じると液洩れしたり、極端に電池の寿命が短くなります。

9．乾電池の交換の際は、極性（＋，－）を表示の通りに装着してください。間違った場合は、故障の原因になります。

10. 長期間（約一ヶ月以上）使用しない場合は、乾電池を外してください。乾電池が液洩れし、はかり内部が腐食する場合があります。

11. 計量部のカバーは絶対に外さないでください。内部をいじると故障の原因になるばかりでなく、内部部品のエッジで、手等を負傷する危険性があります。

12. 指示計内部のカバーは絶対に外さないでください。内部をいじると故障の原因になります。

13. 封印シールがついているはかりはシールを絶対に剥がさないでください。もし誤って剥がしてしまった場合は、ご購入先までご連絡ください。そのままでは取引証明用としては使用できません。

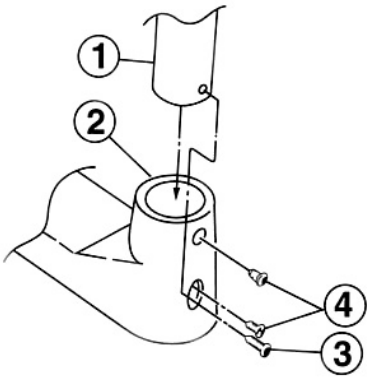
14. 一切の分解、改造はしないでください。取引証明用として使用できなくなるばかりでなく、以後のサービスを受けられなくなる場合があります。

15. はかりが汚れた場合は柔らかな布で拭いてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を少しつけて固く絞った布で拭いてください。シンナーや薬品は使用しないでください。

ご使用前の準備

・支柱の取り付け方

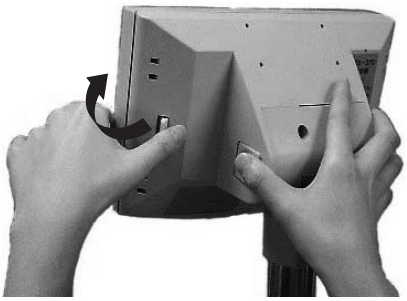
１．支柱①を支柱受②に差し込んでください。
２．ネジ③を支柱①の抜け止め穴に合わせて締め込んでください。
３．ネジ④を締め込んで支柱①を固定してください。



第３図　支柱の取り付け方法

・乾電池の入れ方

１．まず、指示部背面の**指示部開閉用ツマミ**を第４図のように前方向に押して指示部を開けます。開ける際には無理な力がかからないように作業してください。

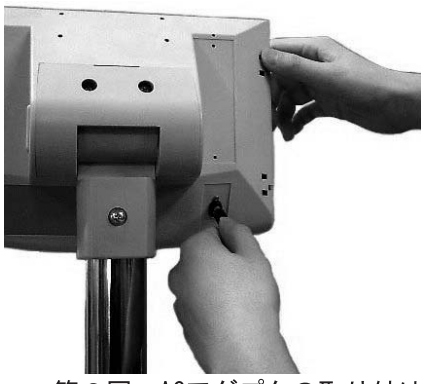

第４図　指示部の開け方

２．乾電池は、電池ボックスに刻んである極性通りに正しく装着してください。向きを間違えるとはかりが故障することがあります。
電池蓋を閉じるには、開けるときと逆の要領で閉じます。

第５図　乾電池の入れ方

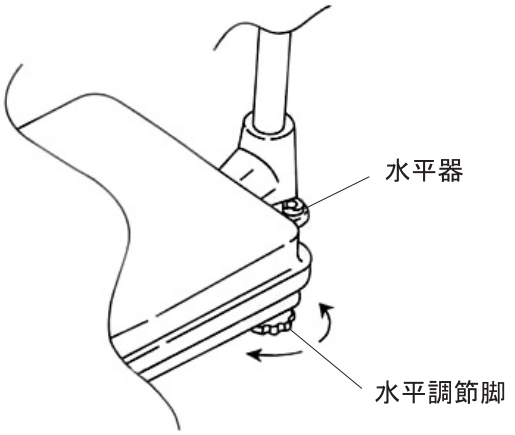
・ＡＣアダプタ（オプション）の接続

ＡＣアダプタは、必ず専用のものをご使用ください。異なったものをご使用になると、はかりが故障することがあります。
アダプタのプラグをジャックにしっかりと差し込みます。

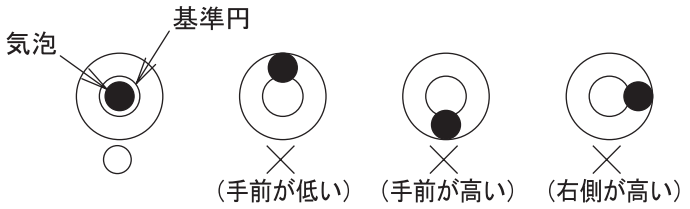

第６図　ACアダプタの取り付け方

・水平の合わせ方

はかりを使用するときは、必ず水平に設置してください。水平でないと、正しい計量ができません。
また、がたつきがあっても正しい計量ができません。
はかりが水平であることは、支柱取付台横の水平器で確認できます。



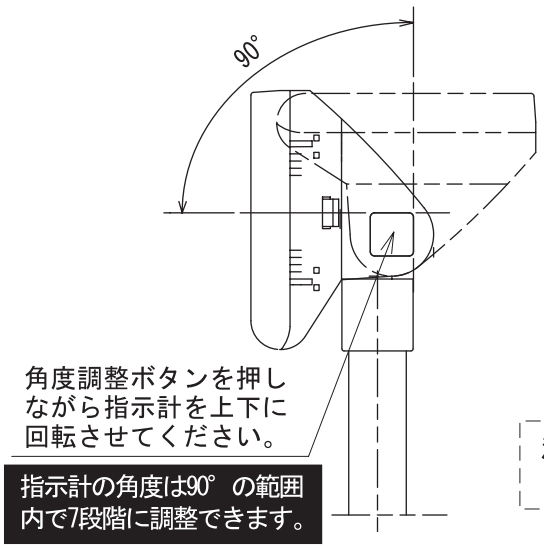
第７図　水平器と水平調節脚

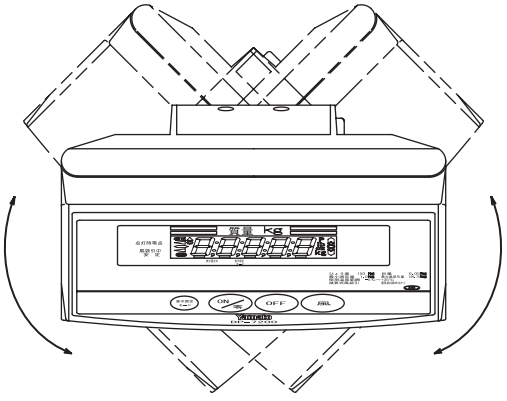


第８図　水平器の見方

指示計の角度を変える方法

指示計の角度を変えるときは、下記方法により変えてください。
・縦方向に角度を調節する場合は、必ず**角度調整ボタン**を押しながら変えてください。
角度調整ボタンを押さずに指示計の角度を変えると、指示計部が破損することがあります。
・横方向に角度を調整する場合は、必ず**指示部固定ネジ**（3ページの「第２図　指示部背面」を参照ください）をドライバーで緩めてから変えてください。
指示部固定ネジを緩めずに角度を変えると、指示計部および支柱が破損することがあります。





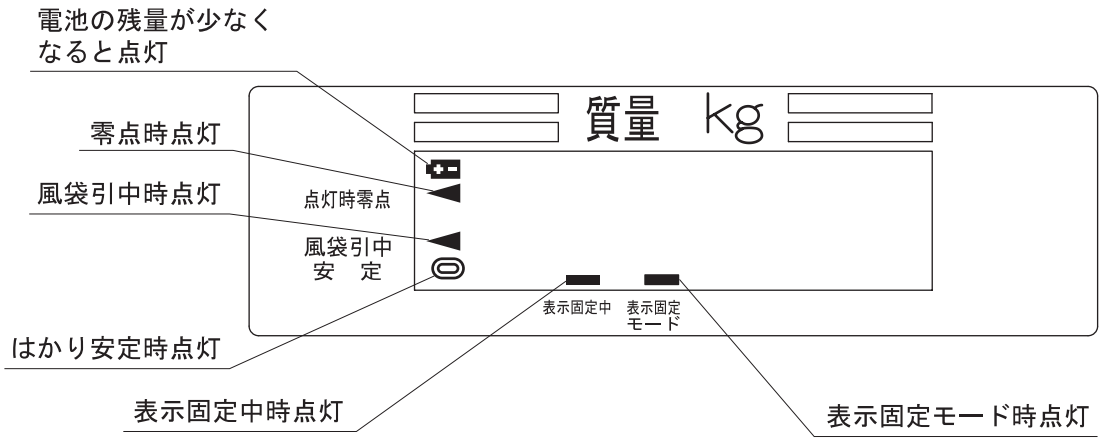
注意）１回転以上させないでください。
内部のケーブルが断線する恐れがあります。

第９図　指示計の角度調整

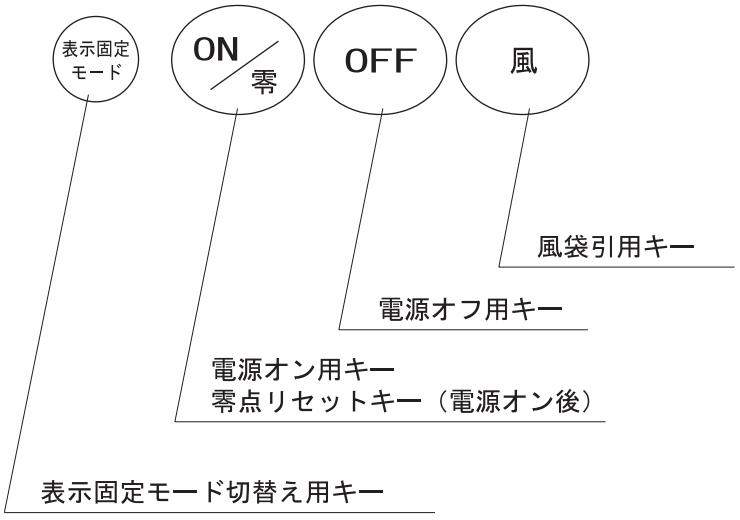
表示部及びキー操作部について

DP-7200の表示部、キー操作部は下図のようになっています。
表示内容やキー操作方法等は、操作手順の項をご覧ください。

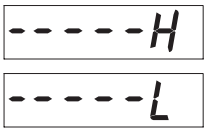
表示部



キー操作部



計量の方法

	操 作 手 順	表 示 内 容	備　　考
1	電源オン ON/零 キーを押してください。	・全ての表示が点滅したあと、0.00表示になります。 	電源オン操作後下記の表示が出た場合は12ページの**エラー表示について**をご覧ください。 

☆風袋引を行う場合は、10ページの **風袋引の方法** をご覧ください。
☆下記説明では表示固定機能を解除しています。表示固定機能については11ページの **表示固定について** をご覧下さい。

2	計量開始 はかりの計量部に乗ってください。	・体重を表示します。 （例の表示は体重が65kgの場合です。） 	体重計に乗った後に下記の表示が出た場合、はかりの計量範囲を超えていますので、もっとひょう量の大きなはかりを使用してください。

3	電源オフ OFF キーを押してください。		計量を行わない場合安定状態（⊜ サインが点灯）が約15分続くと、自動的に電源が切れます。 **（オートオフ機能：ＡＣアダプタ使用時はオートオフ機能は働きません）**

風袋引の方法

・衣服や履き物の重さを、0表示させる場合に使用します。
・風袋量を変更する場合は、計量部より風袋を取り除き、一旦風袋引を取り消して表示を0にしないと次の風袋引が行えません。
・風袋を取り除いても、風袋引きを取り消すことができないときは(ON/零)キーを押すと零点リセットと共に風袋引きを取り消すことができます。

	操作手順	表示内容	備考
1	風袋をはかりに載せてください。	 ・風袋の重さ（例えば0.5kg）を表示します。	
2	(風) キーを押してください。	 ・表示は0.00表示となり、**風袋引中サイン**が点灯します。	
3	計量開始 はかりに乗ってください。	 ・体重の正味重量を表示します。（例の表示は体重が65kgの場合です。）	
4	風袋引を取り消す方法 風袋を計量部から取り除いてください。	 ・風袋の重さをマイナスで表示します。	
5	(風) キーを押してください。	 ・表示は0.00表示となり、**風袋引中サイン**は消灯します。	

表示固定について

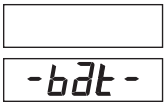
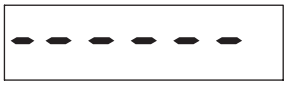
・はかりから降りても約3秒間重量表示値を固定する機能です。
（電源オン時は必ずこの機能が働いています。）
・計量値を再確認したい場合に利用してください。

注）表示固定機能は、取引証明用の計量には使用しないでください。

	操作手順	表示内容	備考
1	表示固定モードサインが点灯していない場合は 表示固定モード キーを押してください。	・**表示固定モードサイン**が点灯していることを確認します。	
2	計量部に乗ってください。	・計量値を表示し、安定すると**表示固定中サイン**が点灯します。（例の表示は体重が65kgの場合です。）	
3	計量部から降りてください。	・計量値が約3秒間固定されます。 約3秒後 ・表示は0.00表示となり、**表示固定中サイン**は消灯します。	約3秒後、自動的に表示固定が解除されます。
4	表示固定モードを解除する方法 表示固定モード キーを押してください。	・**表示固定モードサイン**は消灯します。	表示固定モード キーは1回押す毎に表示固定モード表示固定モード解除と、交互に切り替わります。

エラー表示について

お願い　はかりは自動的にいろいろな機能をチェックしています。チェックにより異状が見つかった場合は下記のような表示を行います。下記表示になった場合はその内容の処置をお願いします。
処置を行っても回復しない場合は、ご購入店もしくは大和製衡㈱の最寄りの支店または営業所までご連絡願います。

	表 示 内 容	このような時表示します	処置の方法
1		乾電池の残量が少なくなると点灯します。	点灯後約５０時間で電池が切れます。新しい電池と交換してください。
2	または  (表示なし)	電池の残量がなくなるといずれかの状態になり、計量できません。	新しい乾電池と交換してください。
3		使用中はかりの載せ台（計量部カバー）を外した場合に表示します。	載せ台（計量部カバーを正しく取り付けてください。重量表示が0になります。
4		使用中はかりのひょう量を超える品物を載せた場合に表示します。	品物を取り除きますと重量表示に戻ります。 はかりの使用範囲内でご使用ください。
5		はかり載せ台上に重い物を載せたままで ON/零 キーを押して電源をｵﾝした、または零点調整を行った時に表示します。	品物を取り除いてから ON/零 キーを押してください。 重量表示が0に戻ります。
6		はかりの計量部カバーの隙間に異物が挟まった状態や載せ台を取り除いた状態で ON/零 キーを押して電源をｵﾝした、または零点調整を行った時に表示します。	計量部カバーの状態を確認又は、載せ台を正しく取り付けて ON/零 キーを押してください。 重量表示が0に戻ります。
7		重量検出部に異状がある場合この表示になります。	電源を一度切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。
8		電子回路に異状がある場合この表示になる場合があります。	電源を一度切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。
9		まれに、強い静電気等でこの表示が出る事があります。	電源を一度切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

DP-7200仕様書

1．計量方式　：　電気抵抗線式

2．ひょう量及び目量　ひょう量　目　量
：　150kg　0.05kg

3．計量部　：　BW-308
載せ台寸法　：　354×354(mm)

4．指示計　：　EDI-363
表示部　：　操作角度調整機能付き
表示管　：　液晶表示管（7セグメント　5桁）
文字寸法　：　幅12×高さ23(mm)
指示計ケース　：　樹脂成型品

5．表示内容　：　質量表示は5桁

6．サイン表示　：　点灯時零点サイン（ ◀ ）：　零点時点灯
：　マイナスサイン（ ▬ ）：　質量がマイナスの時点灯
：　風袋引中サイン（ ◀ ）：　風袋引中に点灯
：　安定サイン（ ◎ ）：　はかりが安定時に点灯
：　電池切れサイン（ ▪ ）：　電池の残量が少なくなると点灯

7．キースイッチ類

ON/零　：　電源オン及び零点リセット用

OFF　：　電源オフ用

風　：　風袋引用

表示固定モード　：　表示固定モード切替え用

8．機能
風袋引機能　：　ワンタッチ風袋引（減算式）

ひょう量	最大風袋引量
150kg	149.75kg

表示固定機能　：　計量値を表示固定し、はかりから降りた後、約3秒間表示固定しその後自動的に解除
オートオフ機能　：　乾電池使用時のみ

9．オプション　：　ＡＣアダプタ

10．電源　：　DC9V（単一乾電池6本使用）又はAC100V（ＡＣアダプタ使用時）

11. 消費電力　　：　0.12W

12. 電池寿命　　：　連続使用で約500時間（マンガン乾電池使用時）
注）乾電池は、メーカー型式や保存状態、使用環境により性能が大きく変わります。
付属電池はモニター用のため、早めにお取り替えください。

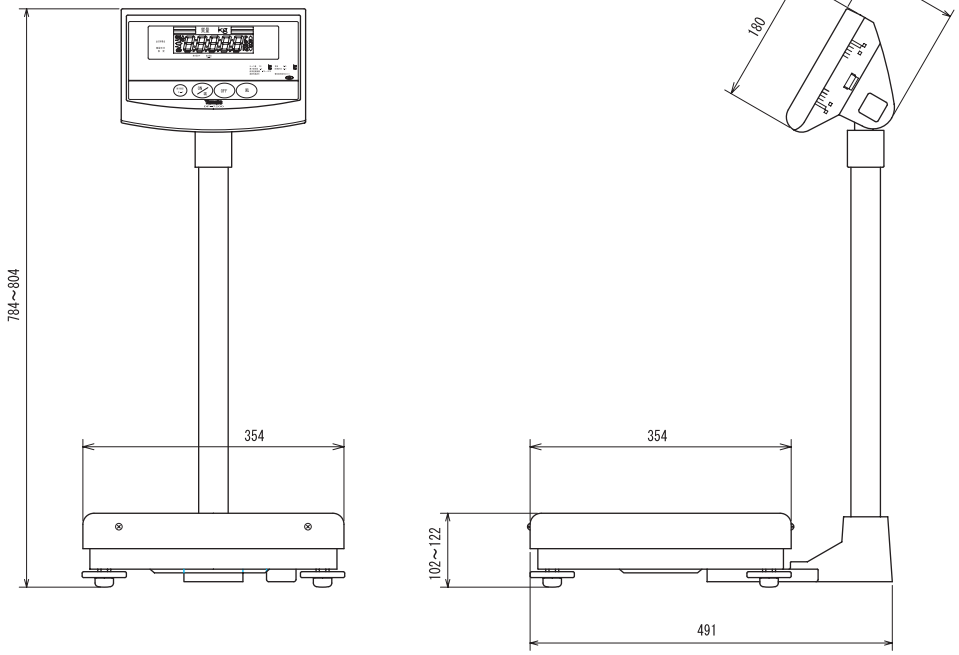
13. 使用温度範囲　：　－5℃～35℃

14. 使用湿度範囲　：　25％～85％RH

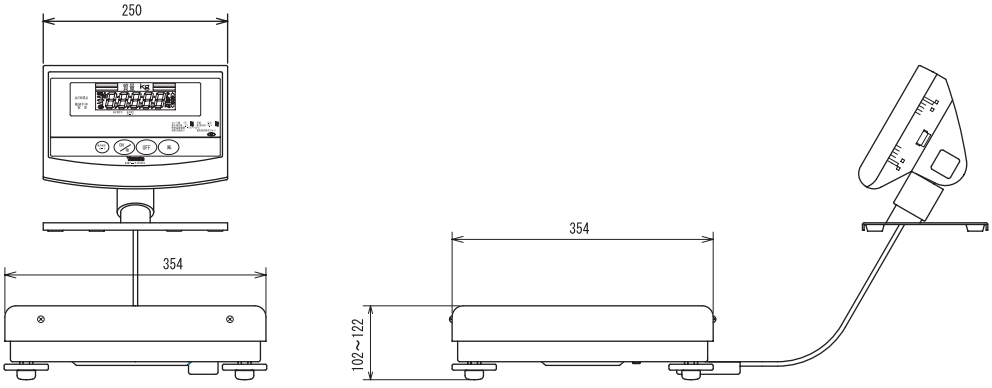
15. 保存温度範囲　：　－15℃～60℃

16. 外観及び寸法

・一体型



・セパレート型



※セパレート型時、ケーブル長さは約3mとなります。

信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

本社営業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号		TEL.078-918-6540
東日本支店	〒105-0013	東京都港区浜松町1丁目22番5号	住友生命浜松町ビル4階	TEL.03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27番14号	朝日生命名古屋栄ビル5階	TEL.052-238-5731
札幌営業所	〒060-0052	札幌市中央区南二条東1丁目1番地14	住友生命札幌中央ビル8階	TEL.011-219-8355
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀4丁目8番18号	ショー・エム都賀1階	TEL.043-214-3920
九州営業所	〒812-0018	福岡市博多区住吉4丁目3番2号	博多エイトビル1階	TEL.092-471-1921

MAN. NO. CC-185A-03A-JA 08101000Ma